

未来づくり懇談会（幸岡）会議録

日 時：平成29年2月20日（月）
19：00～20：30

場 所：幸岡自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策課長、
教育総務課長、総合政策課長補佐

1 開 会 19：00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

○持続可能な矢板西部地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口推計、西小学校についてのアンケート等について説明。

5 意見交換

Q 1 西小を存続させるために、幼児保育施設や高齢者施設を併設してはどうか。

A 1 幼稚園や保育園は義務教育ではないので、幸岡地区の方が必ず通うわけではない。高齢者施設を併設したとしても、行政から西部地区の皆さんに西小の施設を使うようにとは言えない。

平成 29 年 10 月	矢板小への統廃合	合意
--------------	----------	----

平成 29 年 11 月	平成 31 年 3 月閉校で教育委員会議決、市議会報告
--------------	-----------------------------

Q 2 幸岡地区には広場が無い。市が㈱ミクニと交渉して使えるようにしてほしい。

A 2 ㈱ミクニのグラウンド利用については、矢板市で使用料を負担することは、財政や他地区との兼ね合いから難しい。仮に無償で借りられる場合でも維持管理をする必要がある。維持管理を行政区で行うとの同意があれば㈱ミクニと交渉することは可能と思う。

Q 3 築目川のほとりを、矢板を代表するツツジ、リンゴ、高原山に関係するような整備をすれば住んで良かったという地域づくりが出来ると思うが。

A 3 一級河川の管理者は県になるので、意見があった旨を伝える。河川愛護、河川の維持管理に行政区が積極的に取り組むのであれば、矢板土木に働きかける。

Q 4 矢板市にスイミングスクールが無くなった。矢板市の子だけ泳げなくなってしまうのではと心配している声を聞く。矢小のプールを使って、有志でスイミング

スクールをやってはという話が出ている。

A 4 新たに整備するのは難しいと思う。何とかしなければという認識はしている。

Q 5 防災無線が聞き取れない。

A 5 防災無線だけで全てをカバーするのは難しいので、メール配信サービスや電話サービスなどの代替方法を利用してほしい。

平成 29 年 5 月	防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布
平成 29 年 6 月	防災メール登録及び防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布。
平成 29 年 11 月	防災行政無線放送確認するためのフリーダイヤル（通話料無料）電話番号のチラシを全戸配布。
平成 30 年 1 月	防災行政無線の聞こえ方調査を実施

O 6 市民大学が廃止になった。地方に住んでいると生の文化、芸術に触れる機会が少ない。市に補助を出してもらって復活できるとありがたい。

Q 7 矢板市として総合的な都市開発、都市計画の国県への要望の青写真は持っているのか。

A 7 矢板那須線バイパス沿線の秩序ある開発は進めていかななくてはならないと思う。

平成 29 年 9 月	矢板都市計画区域における土地利用方針を策定。 矢板駅西の新市街地エリアについては、優良農地との調和を図りながら、適切な土地利用を促していく。
平成 30 年 4 月	「暮らしのびのび定住補助制度」の拡充。 矢板駅西地区と矢板那須線バイパス周辺を含む新市街地エリアの住宅取得について「特定地域加算」を追加。

Q 8 子どものインフルエンザ予防接種の補助金を出してほしい。

A 8 現在、中学校 3 年生、高校 3 年生へ補助している。周辺市の状況を調べる。

6 閉 会 20:30